

課題1 縁取り練習（7ページから12ページ）

クレヨン／クレパス／クーピー／色鉛筆を使って、与えられた形の縁取りをする。

ステップ1 ゆっくり丁寧に縁取りをする。

→まずは、思い通りに画材を動かして、綺麗に塗る練習をしましょう。

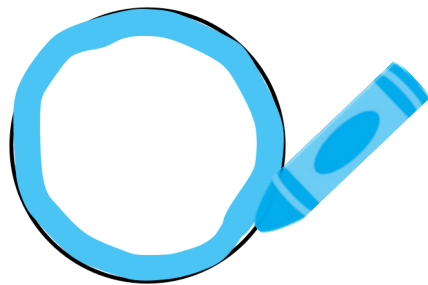
ステップ2 制限時間内に縁取りをする。（時間は、様子を見て徐々に短くしていく。）

→スピードを上げつつも、ステップ1の綺麗さを再現できるように練習しましょう。

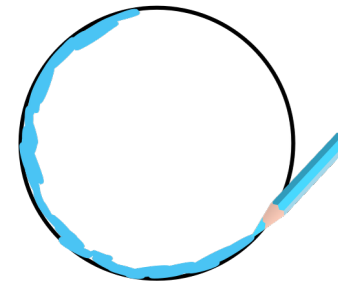
ステップ3 課題を複雑にする。

→色を指定したり、紙を回転させずに取り組んだり、難易度が高い課題にも挑戦しましょう。

【画材による塗り方の違い】

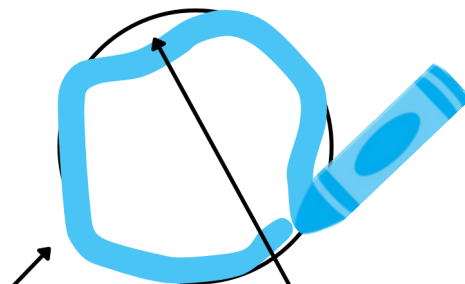


クレヨン／クレパスなどの太い画材なら、一筆でこれくらいの縁取りができるとよい。



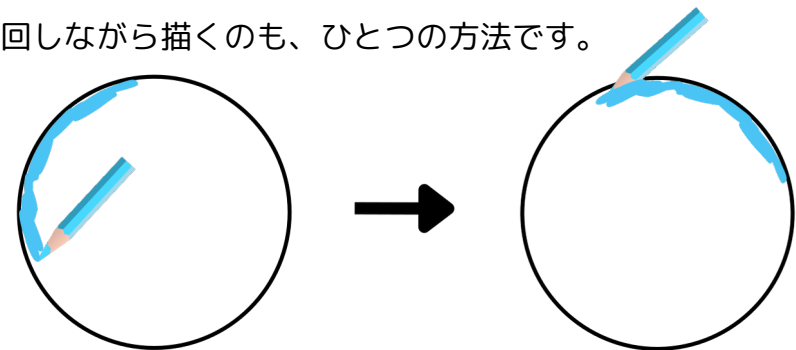
クーピー／色鉛筆などの細い画材なら、塗り重ねてよいので白い部分が残らないように縁取りをする。

【塗り方の注意】



大きくはみ出さない。白い部分が残らないように。

紙を回しながら描くのも、ひとつの方法です。



塗りやすいところまで塗ったら、紙を回転させて塗りやすい角度にする。

課題3 想像絵画のトレーニング（27ページから54ページ）

鉛筆や黒のクーピーを使って、与えられた形から想像したもの・想像したことを描く。

ステップ1 与えられた形から想像したことをスケッチする。

→基本的な構成要素を満たすようにスケッチしましょう。

ステップ2 条件をつけて、想像したことをスケッチする。

<条件の例>

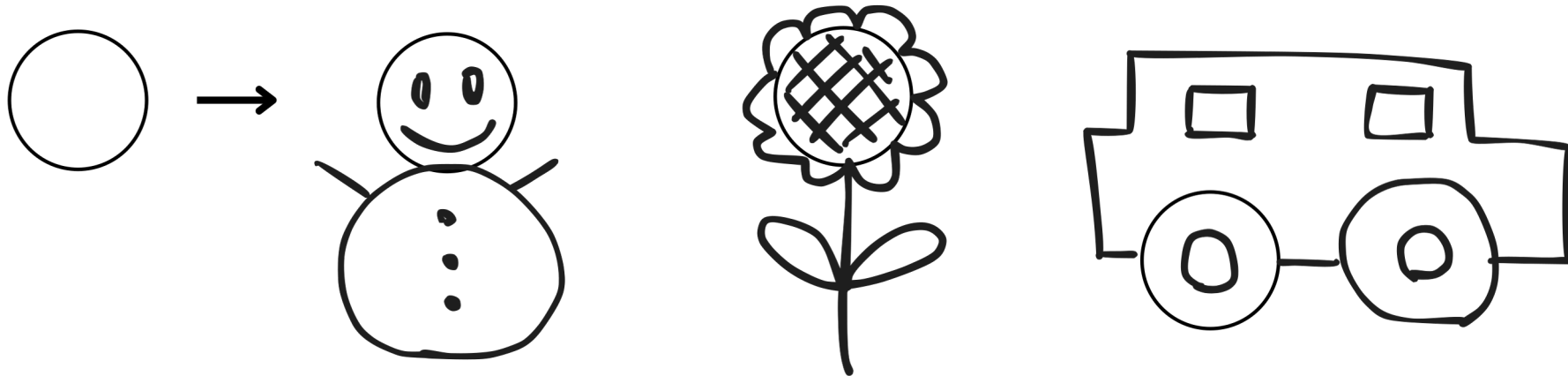
描くものを指定する：動物／植物／夏のもの／好きな生き物／（読み聞かせの後に）登場人物

場面を指定する：幼稚園・保育園／公園／友だちと遊んでいるところ／夏休みの思い出

その他：あったらいいなと思うもの／お家の人に喜んでもらえる絵 など

【想像絵画のトレーニングの仕方】

ひとつの形から色々なものを想像して描いてみましょう。



【トレーニングの注意】

- ・形が描かれている場所や大きさによって、想像するものが制限される可能性があります。（例えば、紙の上方に丸が描かれていた場合、車は想像されにくくなります。）そのため、いろいろな場所や大きさの異なる形で練習しておくことが大切です。
- ・あくまでも想像力のトレーニングですので、絵の上手・下手にこだわらず、楽しく想像を広げてみましょう。
- ・自由な発想で描くのが難しい場合は、「どんな動物が描けるかな？」と問いかけるなどして、イメージが膨らむようにしてください。
- ・次ページ以降の用紙を何枚も印刷して、色々な絵を描く練習をしてみましょう。

